

まちづくり交付金 フォローアップ報告書

新湊地区

平成22年3月
富山県射水市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	来街観光客数(コミュニティバス)	人/年	4,800	5,800	4,200	確定 見込み ○	△	あり なし ●	3,558	H21年5月	×	コミュニティバスを利用されない観光客が多かった。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	獅子舞競演会の開催等イベントによる入り込み客数は増加したが、来街観光客はコミュニティバスを利用しない傾向が伺える。
指標2	イベント開催における入り込み客数	人/年	200,500	240,000	263,400	確定 見込み ○	○	あり なし	270,000	H21年5月	○	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	曳山祭りにおける棧敷席の設置や、獅子舞競演会の開催により、入り込み客数が増加した。
指標3	海王丸パークへの観光客数	人/年	800,000	850,000	818,000	確定 見込み ○	△	あり なし ●	798,400	H21年5月	△	海王丸パーク内でのイベントが例年より少なかった。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	海王丸パーク内で継続的にイベントを開催することが観光客数の増加につながる。
指標4	万葉線を利用する観光客数	人/年	430,000	440,000	441,000	確定 見込み ○	○	あり なし	476,235	H21年5月	○	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	新たなイベント開催の影響や万葉線の車内で漫才や落語を行なう「寄席電車」が運行されたこともあり、万葉線を利用する観光客が増加した。
指標5	対象地区の居住人口	人	11,880	11,880	10,900	確定 見込み ○	△	あり なし ●	10,837	H21年5月	△	推計以上に人口減少が進んだ。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	事業の効果によって地区の魅力は高まり、一旦、人口減少率の鈍化はみられたが、推計以上に人口減少が進んでいる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	対象地区の居住人口増減率	%/年	-1.86	/	-1.80	確定 見込み	/	/	-1.92	H21年5月	/	推計以上に人口減少が進んだ。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	事業の効果によって地区の魅力は高まり、一旦、人口減少率の鈍化はみられたが、推計以上に人口減少が進んでいる。
その他の数値指標2	遊覧船乗客数	人/年	6,684	/	8,231	確定 見込み	/	/	9,416	H21年5月	/	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	イベント開催による入り込み客数が増加したことに伴い、遊覧船の乗客数が増加した。
その他の数値指標3	イベント開催入り込み客数(NPO法人)	人/年	250	/	1,750	確定 見込み	/	/	2,120	H21年5月	/	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	内川に対する関心が高まり、平成17年にNPO法人「水辺のまち新湊」が設立し、内川周辺でイベントが開催されるようになった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	回遊性を高めるための環境整備の継続	回遊性を更に高めるため、整備済み箇所と関連する道路・橋梁、遊歩道等の整備を行う。	二期計画により内川周辺の道路整備を行った。 ・回遊性を更に高めるため、整備済み箇所と関連する道路・橋梁、遊歩道等の整備を行う。 ・内川に漁船が係留している特徴的な景色を活かし観光客の増加を図る。
	内川を中心とする交流拠点の充実	「(株)新湊観光船」、「NPO法人水辺のまち新湊」と連携したイベントの開催。	(株)新湊観光船より整備要望のあった内川に架かる橋に橋銘板の設置を行った。 ・整備された施設のPR、施設ごとが連携する仕組みを検討する。 ・各種イベントを継続的に開催していく。 ・「(株)新湊観光船」、「NPO法人水辺のまち新湊」と連携したイベントの開催。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	観光客のまちなかへの誘導	地域資源となる内川沿いの貴重な神社仏閣へのアクセス整備、曳山展示館、遊覧船といった地域資源の有効活用を図る。	二期計画によりレンタサイクルを行った。 ・地域資源となる内川沿いの貴重な神社仏閣へのアクセス整備、曳山展示館、遊覧船といった地域資源の有効活用を図る。 ・海王丸パーク等を訪れた観光客をまちなかへ誘導するため、橋や遊歩道等の整備を図るとともに、橋のライトアップを行う。
	まちなかの快適性、安全・安心な暮らしの向上	特に無し。	特に無し。 ・住民が暮らしやすいまちなかを形成するため、橋、遊歩道、公園、駅周辺等の整備を図る。 ・誰もが安心して安全に暮らせるまちなかを形成するため、道路整備を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
特に無し。	特に無し。	特に無し。	特に無し。

都市再生整備計画(精算報告)

しんみなと
新湊地区

とやま いみず
富山県 射水市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	富山県	市町村名	射水市	地区名	新湊地区	面積	210 ha
計画期間	平成 17 年度 ～ 平成 20 年度			交付期間	平成 17 年度 ～ 平成 20 年度		

目標							
大目標:内川を活かした潤いのある魅力的な水辺空間による、市民・観光客の交流拠点の創造							
目標1	海王丸パークに訪れる観光客を街なかに誘導することにより、一層の地域振興を図る。						
目標2	橋や遊歩道の景観整備を組み合わせることにより、魅力ある歩行者空間の向上を図る。						
目標3	中心市街地の活性化を図ることにより、定住人口の維持を図る。						
目標設定の根拠							
まちづくりの経緯及び現況							
<ul style="list-style-type: none"> 新湊発祥の地でもある市の中心部は、万葉集にも歌われた古くから開けた地で、室町時代には、文化人が集まるなど、古くから歴史と文化が栄えたまちである。また江戸時代には、放生津潟と内川を中心とする海運が発達し、射水地方の要衝としても発達してきた。 しかし現在では、モータリゼーションの発展への対応の遅れ、商業を取り巻く環境の変化、人口の減少(平成4年度より17%)、更には高齢化(27%)等を背景に衰退・空洞化が進んでいる。 これまでも中新湊・立町地区で再開発事業及び商店街近代化事業等のハード整備を行ってきたが、必ずしも活性化に結び付いていない。 本市には、年間約80万人もの人が訪れる海王丸パークがありながら、訪れた人の市内への還流(年間6万人)の様子が非常に少ない状態である。 中心市街地には、歴史と伝統の残る古い街並みが形成され、街を貫流する内川沿いには、貴重な寺院など多数の文化財があるものの、回遊性が乏しいことから、観光客が市街地を訪れることは少なく、このままでは中心市街地の商業環境等は、今後も厳しい状況が続くものと予想される。 新湊市民総合計画においても最も都市機能が集積するこの地区は、中心市街地活性化のための計画に基づきTMOとの連携により整備が進められ、人の出会い、ふれあいから新たな文化が生まれ、活力が満ちあふれる拠点として、個性的なまちづくりが必要との方向性が示されている。 内川については、庄川からの導水により浄化を図るなど、「水と緑にあふれる魅力あるまち」づくりのための環境整備が進められている。 当地区は、平成13年に、富山県をはじめ関係自治会長及び婦人会など15人による新湊市まちづくり委員会を設立し、4回(うち1回は現場視察)の検討会を開催し、その計画を基本に平成13年度から、まちづくり総合支援事業で、水・緑・文化・歴史空間の整備を行っており、平成16年は、まちづくりを考える座談会(市議会議員、観光ボランティアはじめ18人)を3回(延べ人数54人)開催し、内川に架かる橋梁の景観や照明灯について協議・提案を行った。 平成15年度には、内川を舞台に、新湊まつり(主催 新湊市港湾商工課)やリバーサイドフェスタINしんみなど(主催 リバーサイドフェスタINしんみなど実行委員会 共催 NPO法人環・日本海、NPO法人日本文化交流センターなど)などのイベント開催により市民参加等が進められ、まちづくりの気運が盛り上がってきているところである。 							
課題							
<p>人口減少・高齢化の時代において、市民生活の安定化、経済活力の確保など、中心市街地の活性化が喫緊の課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間約80万人が訪れる海王丸パークから市内への還流の様子が非常に少ない。 歴史・伝統に関わる有形無形の資源や美味しいと評判の寿司屋がありながら回遊性が乏しい。 海王丸パークと有効に連携し、人々が訪れてみたいと思う環境整備や、PR活動など多方面からの整備が必要。 							
将来ビジョン(中長期)							
<ul style="list-style-type: none"> 新湊市民総合計画において、市街地を東西に流れ、富山新港と富山湾を結ぶ内川は、誰にでも誇れる資源であり、後世に伝えるべき財産であり、町並み景観との調和、そこに住む生き物などに配慮しながら整備を進め、人の出会い、ふれあいから新たな文化が生まれ、活力が満ちあふれる拠点として、個性的なまちづくりを進める上で必要な地区として、位置付けされている。 都市計画マスタープランにおいては、海王丸パークなどからの人の誘導策として、内川兩岸の散策路、特徴ある橋、街灯などの整備及びベンチ、四阿(あずまや)などを設置し水辺に誘う環境整備を進めることにより、まちなかの魅力向上を図るとされている。 富山高岡広域都市計画区域整備、開発及び保全の方針(都市計画区域マスタープラン)では、内川など市街地内の水辺空間の活用を図り、都市における新たな潤いの場を創出するとされている。 							
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1 来街観光客数(コミュニティバス)	人/年	海王丸パークの入り込み客のうち、当地区に立ち寄る人数	当面、海王丸パークの入り込み観光客の立ち寄りを目指し、観光地としての内川を認知してもらう。	4,800	15	5,800	20
2 イベント開催における入り込み客数	人/年	内川等を利用したイベントの開催時における入り込み客数	内川等を核にしたイベントの開催により観光客の増加を目指し、中心市街地の活性化を図る。	200,500	15	240,000	20
3 海王丸パークへの観光客数	人/年	海王丸パークの入り込み客数	内川への立ち寄り客を増やすため海王丸パークの観光客数の増加を目指す。	800,000	15	850,000	20
4 万葉線を利用する観光客数	人/年	対象地区内における万葉線の利用客数(定期利用者を除く)	内川等を核にしたイベントの開催により万葉線を利用する観光客を増加させ、中心市街地の活性化を図る。	430,000	15	440,000	20
5 対象地区の居住人口	人	対象地区内の人口	内川等を核とした中心市街地の活性化を図ることにより、定住人口の維持を図る。	11,880	15	11,880	20

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(歩行者空間の形成)</p> <p>・内川を市民生活にとって、安全で快適な環境として、また海王丸パークへの交流人口をまちなかへ誘引するため、新湊の個性を伝える環境として内川周辺の歩行者空間の整備を図る。</p>	<p>街路事業(基幹事業、市) 道路事業(基幹事業、市) 特定交通安全施設等整備事業(くらしのみちゾーン)(関連事業、市)</p>
<p>整備方針2(海王丸パークを活用した観光客の誘導)</p> <p>・海王丸パークに訪れる観光客が内川へ回遊しやすい情報板を設置する。 ・海王丸パークから内川への遊覧船の運航を予定しており、船からの眺めの美しい橋を整備し、散策路とあわせて、親しみが感じられる高欄等の整備を行う。</p>	<p>街路事業(基幹事業、市) 道路事業(基幹事業、市) 地域生活基盤整備(基幹事業、情報板) 内川交通ネットワーク事業(TMO) コミュニティバス運行事業(関連事業、市)</p>
<p>整備方針3(情報発信と交流と憩いの場の創出)</p> <p>・市民・観光客に対し、内川の歴史と文化を発信するとともにコミュニティの場として緑陰をつくる豊かな植栽や照明等のストリートファニチャーの設置や広場の整備により、交流と憩いの空間の創出を図る。</p>	<p>街路事業(基幹事業、市) 道路事業(基幹事業、市) 地域生活基盤整備(基幹事業、広場) 特定交通安全施設等整備事業(くらしのみちゾーン)(関連事業、市) リバーサイドフェスタINしんみなと(関連事業、民間) 高次都市施設(基幹事業・提案事業、市) 曳山展示会館(提案事業、自治会)</p>
<p>その他</p> <p>○事業完了後の継続的なまちづくり活動</p> <p>平成14年度に新湊商工会議所による新湊市タウンマネジメント計画策定事業として、策定委員会(国立高岡短期大学教授はじめ22人で4回開催)や推進委員会(新湊商工会議所専務理事はじめ20人で4回開催)を行い、平成15年3月に新湊TMO構想の報告書を作成した。平成15年4月に商工会議所から、認定申請が行なわれ、平成15年5月1日に新湊TMOに新湊商工会議所がなった。その中で、短期・中期・長期と分類され、数多くの事業が検討されている。</p> <p>主な事業</p> <p>内川周辺町並み整備事業(TMO/民間)、拠点整備事業(TMO/民間)、休憩施設整備事業(TMO/民間)、商店街活性化事業(TMO/民間)、朝市・フリーマーケット事業(TMO/商店街)、商店街情報発信事業(TMO/商店街)、新規出店/誘致と育成事業(TMO/商店街)、観光コース設定事業(TMO/民間/観光協会)、特産品販売研究事業(民間/新湊ふるさと特産品推進協議会)、散策ルート策定事業(TMO/民間/商店街)、内川交通ネットワーク事業(TMO/民間/観光協会)など数多くの事業を予定している。</p> <p>○交付期間中の計画管理について</p> <p>交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けて確実な効果をあげるために、まちづくり座談会(内川沿川自治会長15人)を今後も続け事業の進め方や改善等協議提案を行なっていく予定。</p>	

